

そら バッタのトム、空をとぶ

作：加藤純子

いつも草むらで遊んでいるだけじゃ、おもしろくないや。畑で、だれがいちばん遠くまでとばたなんて、競争しているだけじゃ、つまらないよ。

ある日バッタのトムは、仲間たちから離れ、ひとり町までやってきました。町の草むらには、自分によく似たみどりいろのキリギリスのジョージが「ギーッチョン」と羽をゆすってトムを見ました。

その顔があまりにも自慢げだったので、負けずにトムもとんでみせました。

「やるな、おまえ」

ジョージはそう言うと、もういちど、

「ギーッチョン」と前ばねをこすりあわせ、鳴きました。

「おまえ、どこまでとべるんだ？」

ジョージが聞いてきました。

「空高く」

ジョージには自信がありません。

「へえ、おれさまは、とぶのは苦手だけど、自慢できるものがある。ここだ」

そう言ってジョージは前足を見せました。

「すごいトゲだろ。これで獲物をつか

まえたら、みんなイチコロさ」

ジョージの前足は自慢するだけのこと
はあって、痛そうなたげとげがびっしり
とついています。ジョージのような武器
は持っていないませんが、トムだってじょう
ぶな大あごがあります。

「かみ切るのは得意なんだけど」

「じゃあ、どこまでとべるか見せてく

れたら、えさを見つけてきてやる」

とぶのが苦手そうなジョージは、そう言って空を見上げました。

ボクは、草でいいんだけど……

けれどトムはそれを口に出せませんでした。ジョージがすごく得意そうだったの



バッタは食いし人間、大敵 羽を折って他人はや害の行動を食いつくし、又敵を食したことが過去に羽をもあります。

夏鳥